

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		タウンサイクル				所管	都市づくり部 交通対策課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	78	計画事業名	タウンサイクル	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進				[事業開始] 平成 9 年度				
		[小 柱] (1)暮らしを支える都市基盤の充実				[終了予定] - 年度				
		[施 策] ①都市基盤の充実								
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区レンタサイクル条例					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民等 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	レンタサイクルは、身近な交通手段として自転車を共有することにより、区民及び来街者の自転車利用の利便性向上を図り、併せて放置自転車の減少を図る。								
事業内容 [29年度]	区立自転車駐車場及び台東区ホテル旅館協会に加盟しているホテル等(協定を締結)にレンタサイクルを配置し、区民、在勤者、観光客等に自転車を貸し出す。 レンタサイクル貸出場所(18箇所 配備台数281台) ①自転車駐車場 4箇所 配備台数244台 ②台東区ホテル旅館協会加盟のホテル・旅館 11箇所 配備台数37台 ③台東区ホテル旅館協会加盟のホテル・旅館 3箇所 利用申請書の配備のみ									
委託の有無	一部委託	委託内容		レンタサイクルシステム稼働及び保守委託 等						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	レンタサイクル貸出場所	箇所	20	20	19	18	22	81.8%	
		成果指標	年間利用台数	台	30,000	33,276	32,686	29,169	35,000	83.3%
		駅前放置自転車台数	台	1,800	2,272	1,955	1,903	2,100	110.4%	
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				7,434	8,479	8,161		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				8,020	8,917	5,606		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				7,435	8,480	8,162		
		総経費				0	0	0		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				15,455	17,397	13,768		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				7,435	7,589	6,743				
一般財源(区負担額)				0	0	0				
前回評価から29年度に改善した事項	自転車シェアリングについて、台東区タウンサイクル事業実証実験を実施するにあたり、連携する民間事業者を選定し、シェアサイクルを展開する準備を行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	利用台数は減少しているが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、観光客の利用需要が増加すると考えられる。							
	効率性	3	リサイクル自転車の活用や、各駐輪場との運営上の連携を図ることにより事業を実施している。							
	手段の適切性	3	駐輪場の他、ホテル旅館協会と協定を結びレンタサイクルを配置する貸出方法はおおむね適切である。							
目的達成度	2	駅前放置自転車台数は年々減少を続けているが、自転車の共同利用が十分に実現されているとはいえないため、実証実験を実施し、更なる自転車の共同利用の促進を図る必要がある。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
現在のタウンサイクル事業では自転車の共同利用が十分に実現されず、放置自転車対策にはつながっていないため、台東区タウンサイクル事業実証実験を実施し、その効果を検証しながら、自転車の共有化を推し進めていく必要がある。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		